

# 2019政策フォーラム⑤

## 第2セッション：安全・健康・ゆとり・働きがい

### 実現するための検証運動の強化

○安全で働きやすい駅の将来を目指して

横浜地本：横浜駅分会

横浜駅での警備員の列停扱いが、どのように教育されているのか聞いたところ、「指導された通りに扱いました問題があるなら上にあげてください」と言われました。警備員の教育はどのようになっているのか疑問に思い、教育についてJR本体ではどうなっているのか考えてみました。新入社員は、総合研修センターでの研修を終えて各駅に配属になります。近年は営業の基礎教育は少なくなり、配属駅での教育が重要になっています。しかし、配属駅での事情もあり教育が十分行われず、一人で業務につく駅もあります。そのため危ない事象もたびたび起こっている実態です。ホーム巡回もガードマン任せになり、ホーム上の安全確保にも不安を感じている組合員も多くいます。近年、業務委託や無人駅が増え駅の安全が脅かされています。要員不足もあり新入社員を早く仕上げているため営業制度に不安がある社員もいます。一方、横浜駅では試験的にAIの導入でお客さま案内をしています。あらかじめ想定されたことには答えられますが、異常時などの対応には答えられないものになっています。会社は人口減少に伴い駅の業務委託などでJR本体社員の配置駅が減少していますが、駅には未だに人を頼りにするお客さまも多くいます。人にしかできない安全確保やサービスを充実させるために、人にしかできない充実した本来の駅を創造していきます。

駅の在り方、旅行業の在り方等の施策はお客さまが求めているのかな。

お客様：国府津に行きたいのですが？  
ペッパー君：死にたいんですか？  
※こんなやり取りがあったそうです・・・

⑥へ続く